



日本共産党杉並区議会議員

週刊

# こんにちは こうへい 山田耕平 です

2022.7.21 No.450

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

右QRコードを  
ご活用下さい



## 都市計画マスタープラン「骨子案」 修正・スケジュール見直しへ 岸本区長のもとで杉並区が変わり始める

7月15日（金）杉並区都市計画審議会が開催されました。審議会には、今後10年程度のまちづくりに影響を与える都市計画マスタープラン骨子案が報告案件として提案されました。

### 前区長が推進してきた 道路・開発優先の骨子案

都市計画マスタープラン骨子案は田中前区長が進めたまちづくりを踏襲するものであり、都市計画道路や駅前再開発等を推進する内容となっています。岸本区長は7月11日に就任した後、僅か5日間で審議会が開催されており、骨子案への新たな修正や見直し等が行なわれなまま、報告案件とされることになりました。

審議会には56名の住民が傍聴に参加。各地域で大きな問題となっている道路計画等を従来通りに推進するのか、大きな注目を集めました。



提案された骨子案は、従来通りの都市計画道路を推進する内容になっており、補助132号、133号、221号、227号等の大きな問題となっている道路についても整備を促進することが計画の柱となっている。

### 都市計画審議会とは？

自治体が都市計画を定めるため、都市計画法に基づき、その案を調査や審議する区長の諮問機関。学識経験者、議員、行政機関の長や職員などが委員として任命されます。

審議会委員からは、従来の計画の進捗を懸念する声も出される一方、ゼロカーボンシティ推進の必要性を認める発言も多く出されました。今後、骨子案の修正や説明会などの策定スケジュールの変更が本格的に始まります。

## ゼロカーボンの観点を 岸本区長が見直しを明言

こうした事態に対して、審議会の報告案件の議事の冒頭で岸本区長自らが発言し、ゼロカーボンを骨子案の柱に位置付けることを強調しました。この位置付けにより、既存の道路や開発においても、CO2の排出量等の観点から精査することが必要となります。

また、従来の取り組みに留まらず、地球温暖化対策に杉並区が本気で取り組む方向性を打ち出し、審議会委員にも、その観点を踏まえての議論を求めました。

## 党区議団も見直しを歓迎

党区議団も区長発言を歓迎し、①区民意見の尊重②ゼロカーボンシティの推進③都市計画道路の再検討と防災強化④多心型まちづくりの問題⑤住宅施策の充実⑥ユニバーサルデザインについて、6つの提案を行ないました。

# 岸本区長の初登庁を大勢の住民が大歓迎 住民思いの区政と一緒に！ 岸本さとこ区長 公用車使わず自転車で登庁



約150名の住民や区役所職員、多くのマスクミが岸本区長の初登庁を出迎えた。



7月11日から区長任期をスタートさせた岸本さとこ区長。

## 黒塗り公用車と決別 自転車で通勤する区長

7月11日、杉並区長選挙で初当選した岸本さとこ区長が杉並区役所に初登庁しました。区役所前で約150名の住民や職員が見守るなか、岸本さとこ区長は自転車で颯爽と登庁、万雷の拍手で迎えられました。日本共産党杉並区議団も区民のみなさんと一緒に拍手で岸本区長を迎えました。

岸本区長の自転車での登庁シーンを撮影した動画（金子区議撮影）はツイッター上で135万回再生され、多くの歓迎のコメントが寄せられる等、日本全国から注目を集めています。

前区長のもと、公用車の不適切な使用が重大問題となってきた中で、岸本区長は区長専用車を使用しないことを宣言。早速、自転車での通勤を開始しています。区役所内には、区長の自転車置き場も準備され、就任直後から杉並区政の変化が始まっています。



公用車問題は多くのマスクミが取り上げた。山田 幸太郎

## 新区長の区政運営方針 記者会見で示される

登庁後、岸本区長は初の記者会見を行い、マスクミからの様々な質問に答えながら、今後の区政運営などについて語りました。記者会見に駆けつけたマスクミは30社でした。

記者会見は時間制限を極力無くし、全ての取材に対等平等に応じ、フリーランスの方々も広く受け入れている点は重要です。記者からの質問にも区長自らが一問一答で懇切丁寧に回答しました。



右QRコードを読み取っていただくと、記者会見の動画（約1時間）がご覧になれます。

### 今週の1コマ

#### 水鉄砲戦でハッスル

子ども達の小学校のおやじの会で「水鉄砲戦」を行ないました。200人以上が参加！コロナ禍で中止が相次ぎ、3年振りの水鉄砲大会に子ども達も夢中で楽しんでいました。



ジャングルジムにおやじ城を作り必死に防衛。集中放水を浴びました。

#### コロナ禍・物価高騰から生活を守る対策を申し入れ

7月12日、日本共産党杉並区議団は杉並区に対し、方創生臨時交付金「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」の活用を求める申し入れを行ないました。

物価高騰が区民の暮らしを直撃し、杉並区が区民生活を守るためにどう対応するかが問われています。政府は地方創生臨時交付金を創設しましたが、これを区民と区内事業者のために最大限活用することが求められます。

申し入れでは、教育、区民生活、事業者、その他の4項目に分け、きめ細かな対応を、と要望しました。政策経営部長は、交付金の活用は検討していくと話しました。



申し入れ文は区議団HPに掲載。